



Innovation Working For You®
システムサポート

Excel 操作

1. Readme

バージョン 1.0

2024 年 3 月 27 日

目次

Readme	1
目次	2
1. 前書き	3
1.1 概要	3
1.2 ユースケース	3
2. 要件と前提条件	4
2.1 システム要件	4
2.2 前提条件	4
3. はじめに	5
3.1 クイックスタート	5
4. サポートとよくある質問	25
4.1 サポート	25
4.2 よくある質問	25
付録 A : 変更の記録	15
付録 B : ライセンス表示	15

1. 前書き

このドキュメントには、ユーザーがこのAutomation 360コマンドパッケージを最大限に活用するための重要な情報がすべて含まれている。コマンドパッケージのセットアップと構成の機能と機能、およびステップバイステップの手順の説明が含まれている。

1.1 概要

このパッケージは Excel に関する処理を効率化するパッケージである。

1.2 ユースケース

主な使用例は以下である。

- 指定のセルを結合する。
- 指定のセルの背景色を変更する。
- 指定のセルのフォントを変更する。
- 指定のセルに罫線を追加する。
- 指定のセルの表示形式を読み取る。
- 指定のセルの表示形式を変更する。
- グラフを作成する。
- グラフのソース範囲を変更する。
- グラフ種類を変更する。
- グラフを PowerPoint へコピーする。
- 指定の列に対して複数条件でフィルターを設定する。

2. 要件と前提条件

2.1 システム要件

Enterprise Automation 360（クラウド展開）および Community Edition デバイスの要件

ローカルマシンで Enterprise Automation 360（クラウド展開）または Community Edition ユーザーとしてボットとコマンドパッケージを作成および実行するために、Automation Anywhere Enterprise でサポートされているマシンハードウェア仕様、オペレーティングシステムのバージョン、およびブラウザタイプを確認する。

2.2 前提条件

Automation 360 のインストール以外に特定の前提条件は特になし。

3. はじめに

3.1 クイックスタート

3.1.1 セットアップ

特別な設定は必要ありません。

3.1.2 構成と使用方法

3.1.2.1 アクションリスト

- セル操作
 - セル結合
指定セルを結合する。
 - セル背景色を変更
指定のセルの背景色を変更する。
 - フォントを変更
指定セルのフォントを変更する。
 - 罫線を引く
指定のセルに罫線を追加する。
- グラフ操作
 - グラフ種類変更
グラフ種類を変更する。
 - PowerPoint へコピー
グラフを PowerPoint へコピーする。
※「pptx」ファイルのみ有効です。
 - グラフ作成
グラフを作成する。
 - ソース範囲変更
グラフのソース範囲を変更する。
- 開く/閉じる
 - 開く
Excel ファイルを開く。
 - 閉じる
Excel ファイルを閉じる。

- 表示形式
 - 表示形式の読み取り
指定のセルの表示形式を読み取る。
 - 表示形式の設定/変更
指定のセルの表示形式を変更する。
- テーブル操作
 - 複数条件でフィルタリング
指定の列に対して複数条件でフィルターを設定する。

※上記アクションは PowerPoint へコピーを除き、全て「xlsx」ファイルのみ有効です。

3.1.2.2 アクションパネル



3.1.2.3 アクションの構成

3.1.2.3.1 開く

本パッケージを使用する際に必ず最初に使用するアクションである。

Excel操作(STS): 開く

Excelファイルを開きます。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

ファイルパス

Control Room ファイル デスクトップ ファイル 変数

 C:\Users\ta-yamaguchi\Desktop\Boi  

必要な拡張子: ".xlsx"

例: C:\Working\Excel1.xlsx

☒ 特定のシート名

 Sheet1 

例: Sheet1またはSHEET1

☒ パスワードが必要です

開くには

資格情報 変数 安全でない文字列

 test 

セッション名

 Default 

例: Session1またはS1

1. ファイルパス

Excel ファイルのパスを指定する

2. 特定のシート名

対象の Excel ファイルのシート名を必要に応じて選択する

3. パスワードが必要です

対象の Excel にパスワードが設定されている場合、パスワードを設定する。

4. セッション名

任意のセッション名を記載する

3.1.2.3.2 閉じる

Excel操作(STS): 閉じる

Excelファイルを閉じます。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

🔍 Default

(x)

例: Session1またはS1

1. セッション名

任意のセッション名を記載する

3.1.2.3.3 セル統合

Excel操作(STS): セル結合

指定セルを結合します。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

 Default 

例:Session1またはS1

セルの範囲

 R5:T9 

ex.A1:B3

結合タイプ

- ☐ セルの結合
- ☒ 横方向に結合

1. セッション名

任意のセッション名を記載する

2. セルの範囲

セルの範囲を指定する

3. 統合タイプ

セルの統合方法を指定する

3.1. 統合タイプ（セルの統合）

指定した範囲を 1 つに統合する

3.2. 統合タイプ（横方向に統合）

指定した範囲を 1 行単位で統合する

例：セルの範囲が「R5:T9」で統合タイプが「横方向に統合」の場合、

「R5:T5」「R6:T6」「R7:T7」「R8:T8」「R9:T9」でそれぞれ統合

3.1.2.3.4 セル背景色を変更

Excel操作(STS): セル背景色を変更

指定のセルの背景色を変更します。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

🔊 Default (x)

例: Session1またはS1

セルの範囲

🔊 R5:T9 (x)

ex. A1:B3

罫線の色を指定

☒ 標準の色

BLACK

☐ カラーコード

🔊

ex.120,0,50 ※RGBで表記

BLACK

WHITE

RED

YELLOW

GREEN

BLUE

LIGHT GRAY

DARK GRAY

SKY BLUE

LIGHT TURQUOISE

LIGHT GREEN

LIGHT YELLOW

PALE BLUE

ROSE

LAVENDER

TAN

LIGHT BLUE

AQUA

LIME

GOLD

1. セッション名

任意のセッション名を記載する

2. セルの範囲

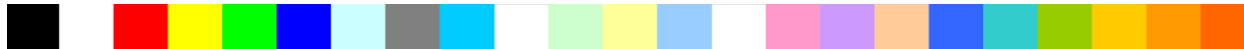
セルの範囲を指定する

3. 罫線の色を指定

罫線の色を指定する

3.1. 罫線の色を指定（標準の色）

上図左の一覧から色を選択する。実際の色は下図に示す



3.2. 罫線の色を指定（カラーコード）

任意 RGB カラーコードを入力する

3.1.2.3.5 フォントを変更

Excel操作(STS): フォントを変更

指定セルのフォントを変更します。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

🗨 Default (x)

例:Session1またはS1

セルの範囲

🗨 R5:T9 (x)

ex A1:B3

☒ 文字の大きさを変更

10.5 (x)

ex.10.5

☒ 文字の色を変更

☒ 標準の色

BLACK ▼

☐ カラーコード

🗨

ex.120,0,50 ※RGBで表記

☒ 文字のタイプを変更

☐ 太字

☐ 斜体

☒ 下線

☒ 下線

☐ 二重下線

1. セッション名

任意のセッション名を記載する

2. セルの範囲

セルの範囲を指定する

3. 文字の大きさを変更

任意のフォントサイズを指定する

4. 文字の色を変更

任意の文字の色を指定する

4.1. 文字の色を変更（標準の色）

コンボボックスから色を選択する（詳細は 3.1.2.3.2 の 3.1 を参照）

4.2. 文字の色を変更（カラーコード）

任意 RGB カラーコードを入力する

5. 文字のタイプを変更

任意の文字タイプに変更する。文字タイプは以下となる。

- ・太字
- ・斜字
- ・下線（下線 or 二重下線）

3.1.2.3.6 罫線を引く

Excel操作(STS): 罫線を引く

指定のセルに罫線を追加します。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名
🔍 Default [X]

例 Session1 または S1

セルの範囲
🔍 R5:T9 [X]

例 A1:B3

罫線を指定

☒ 格子

☐ 外枠

線のスタイルを指定

☒ 実線

☐ 点線

☐ 太線

罫線の色を指定

☒ 標準の色

BLACK ▼

☐ カラーコード

🔍

例 120,0,50 ※RGBで表記

1. 罫線を指定

罫線を指定する（格子 or 外枠）

2. 線のスタイルを指定

線のスタイルを指定する（実線 or 点線 or 太線）

3. 文字の色を変更

任意の文字の色を指定する

3.1. 文字の色を変更（標準の色）

コンボボックスから色を選択する（詳細は 3.1.2.3.2 の 3.1 を参照）

3.2. 文字の色を変更（カラーコード）

任意 RGB カラーコードを入力する

3.1.2.3.7 グラフ種類変更

Excel操作: グラフ種類変更

指定したグラフの種類を変更します。変更前・後ともに以下のグラフ種類に限られます。面グラフ、棒グラフ（縦・横）、円グラフ

セッション名

🔍 Default

(x)

例:Session1またはS1

グラフ名

🔍 グラフ_1

(x)

作成するグラフの名前です。

グラフ種類

棒グラフ(横)



グラフ種類を選択してください。

1. セッション名
任意のセッション名を記載する
2. グラフ名
種類変更する対象のグラフタイトルを記載する
3. グラフ種類
変更後のグラフ種類をコンボボックスから選択する
 - 棒グラフ（横）
 - 棒グラフ（縦）
 - 面グラフ
 - 折れ線グラフ
 - 円グラフ

3.1.2.3.8 PowerPoint へコピー

Excel操作: PowerPointへコピー

指定したグラフをPowerPointへコピーします。このアクションはpptxファイルでのみ有効です。

セッション名

🔍 Default (x)

例: Session1またはS1

グラフ名

🔍 グラフ_1 (x)

コピーするグラフの名前です。

ファイルパス

🔍 C:\Output.pptx (x)

グラフを出力するpptファイルを指定してください。必要な拡張子: ".pptx"

1. セッション名
任意のセッション名を記載する
2. グラフ名
PowerPoint へコピーするグラフの名前を記載する
3. ファイルパス
PowerPoint のファイルパスを指定する。

3.1.2.3.9 グラフ作成

Excel操作: グラフ作成

Excel上のデータをもとにグラフを作成します。

セッション名

例: Session1またはs1

グラフ名

作成するグラフの名前です。

グラフ種類

グラフ種類を選択してください。

グラフを配置するセルの範囲

グラフを配置するセル範囲を指定してください。例) A1:D1

カテゴリデータの範囲

カテゴリデータのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列1

系列名1

系列名のセルの場所を指定してください。例) A1

系列データ範囲1

系列データのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列2

系列名2 (任意)

系列データ範囲2 (任意)

系列3

系列名3 (任意)

系列データ範囲3 (任意)

系列4

系列名4 (任意)

系列データ範囲4 (任意)

系列5

系列名5 (任意)

系列データ範囲5 (任意)



1. セッション名

任意のセッション名を記載する

2. グラフ名

作成するグラフの名前を記載する

3. グラフ種類

作成するグラフの種類をコンボボックスから選択する

- 棒グラフ（横）
- 棒グラフ（縦）
- 面グラフ
- 折れ線グラフ
- 円グラフ

4. グラフを配置するセルの範囲

シート内のグラフを配置するセルの範囲を記載する

5. カテゴリデータの範囲

グラフのカテゴリデータとなるセルの範囲を記載する

6. 系列

- 系列名
系列の名称となるセルを記載する
- 系列データ範囲
系列のデータとなるセル範囲を記載する

入力例

Excel操作: グラフ作成

Excel上のデータをもとにグラフを作成します。

セッション名

☞ Default

(x)

例: Session1またはS1

グラフ名

☞ グラフ タイトル

(x)

作成するグラフの名前です。

グラフ種類

棒グラフ(縦)

▼

グラフ種類を選択してください。

グラフを配置するセルの範囲

☞ A6:G18

(x)

グラフを配置するセル範囲を指定してください。例) A1:D1

カテゴリデータの範囲

☞ A2:A4

(x)

カテゴリデータのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列1

系列名1

☞ B1

(x)

系列名のセルの場所を指定してください。例) A1

系列データ範囲1

☞ B2:B4

(x)

系列データのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列2

系列名2 (任意)

☞ C1

(x)

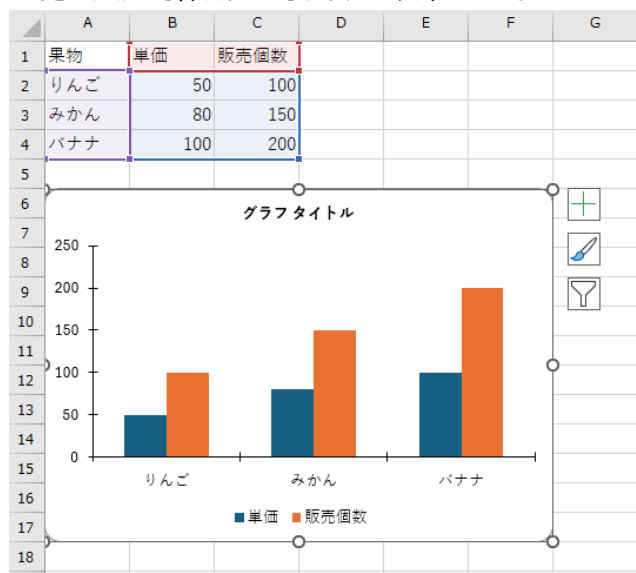
系列データ範囲2 (任意)

☞ C2:C4

(x)

並列で

上記の入力で作成されるグラフは以下のとおり



3.1.2.3.10 ソース範囲変更

Excel操作: ソース範囲変更

指定したグラフのソース範囲を変更します。系列データの追加はできません。

セッション名
 (x)
例: Session1またはS1

グラフ名
 (x)
作成するグラフの名前です。

グラフ種類
 ▼
グラフ種類を選択してください。

カテゴリデータの範囲
 (x)
カテゴリデータのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列1

系列名1
 (x)
系列名のセルの場所を指定してください。例) A1

系列データ範囲1
 (x)
系列データのセル範囲を指定してください。例) A1:D1

系列2

系列名2 (任意)
 (x)

系列データ範囲2 (任意)
 (x)

系列3

系列名3 (任意)
 (x)

系列データ範囲3 (任意)
 (x)

系列4

系列名4 (任意)
 (x)

系列データ範囲4 (任意)
 (x)

系列5

系列名5 (任意)
 (x)

系列データ範囲5 (任意)
 (x)



1. セッション名

任意のセッション名を記載する

2. グラフ名

ソース範囲を変更するグラフの名前を記載する

3. グラフ種類

ソース範囲を変更するグラフの種類をコンボボックスから選択する

- 棒グラフ（横）
- 棒グラフ（縦）
- 面グラフ
- 折れ線グラフ
- 円グラフ

4. カテゴリデータの範囲

グラフのカテゴリデータとなるセルの範囲を記載する

5. 系列

※変更対象のグラフの系列数は増減できません。

変更対象のグラフの系列数が 2 の場合、系列名 1,2 と系列データ範囲 1,2 に入力ください。

- 系列名
系列の名称となるセルを記載する
- 系列データ範囲
系列のデータとなるセル範囲を記載する

3.1.2.3.11 表示形式の読み取り

Excel操作: 表示形式の読み取り

指定したセルの表示形式を読み取ります(ユーザ定義を除く)。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

🔍 Default

(x)

例: Session1またはS1

セルの指定

🔍

(x)

ex. A1

戻り値

変数を選択



(x) +

1. セッション名
任意のセッション名を記載する
2. セルの指定
読み取るセルを指定する
3. 戻り値
読み取り結果を入れる変数を指定する

3.1.2.3.12 表示形式の設定/変更

Excel操作: 表示形式の設定/変更

指定したセルに表示形式を設定/変更します。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

🔍 Default (x)

例: Session1またはS1

セルの指定

🔍 (x)

ex. A1

表示形式の設定方法

☒ 主要な表示形式

標準(ex.あいう) ▼

プルダウンから表示形式を選択します。

☐ カスタム入力

🔍

表示形式を入力します (\$を使用したい場合は\$\$と入力するとエスケープ可能)。

1. セッション名
任意のセッション名を記載する
2. セルの指定
読み取るセルを指定する
3. 表示形式の設定方法
 - 主要な表示形式
プルダウンから表示形式を選択する
 - カスタム入力
表示形式を入力する
(\$を使用したい場合は\$\$と入力するとエスケープ可能)。

3.1.2.3.13 複数条件でフィルタリング

Excel操作: 複数条件でフィルタリング

指定したヘッダ以下の行の指定した1列に対し、複数条件でフィルタリングを行います。このアクションはxlsxファイルでのみ有効です。

セッション名

Default

(x)

例:Session1またはS1

☐ 設定済みフィルターがある場合、リセット

ヘッダ範囲

”

(x)

フィルター対象となる範囲のヘッダを指定 例) A1:D1

フィルター対象列

☒ 列名

”

(x)

列名（ヘッダ名）を入力

☐ 列の位置

#

列の位置を数字で入力 例) A列の場合、1

フィルター対象の列位置を指定する

フィルター条件

リスト 変数

目

(x)

表示するデータの値を文字列で入力

1. セッション名
任意のセッション名を記載する
2. 設定済みフィルターのリセット
フィルタリングを行う Excel シートにすでにフィルターがかけられている場合、リセット可否を選択する
 チェック ON : フィルターをリセットし、新たにフィルタリングする
 チェック OFF : フィルターをリセットせず、追加でフィルタリングする
3. ヘッダ範囲
フィルター対象となるデータのヘッダ範囲を記載する

4. フィルター対象列

フィルタリングする列の指定を行う

指定方法は下記 2 通り

- 列名
ヘッダの値を文字列で入力
- 列の位置
列位置を数値で入力
例) A 列にフィルターをかける場合、1

5. フィルター条件

列内で表示するデータの値を文字列で入力

4. サポートとよくある質問

4.1 サポート

無料のボットは公式にはサポートされていません。次のチャネルを通じてコミュニティサポートにアクセスできます。

- コミュニティサポートにアクセスして、他の Automation Anywhere の顧客や開発者とつながることができます。

[APeople](#) – [ボット構築フォーラム](#)、[ボットストアサポートフォーラム](#)、または [Developers Everywhere Group](#)。

- Automation Anywhere は、[製品ドキュメントポータル](#) を提供しています。
当社の製品に関する詳細とガイダンスは[エンタープライズ Automation 360](#) にあります

4.2 よくある質問

Enterprise Automation 360 に関する質問については、[エンタープライズ Automation 360 のよくある質問](#)。

付録 A : 変更の記録

番号	バージョンナンバー	変更日	著者	ノート
1	1.0.0.0	2024 年 3 月 27 日	STS 和田	パッケージの最初のリリース
2				

付録 B : ライセンス表示

Excel Operation パッケージ

Copyright© 2024 System Support Inc. All rights reserved.

本パッケージでは、以下のオープンソースライセンスライブラリを使用しています。

Apache POI

Copyright 2004-2022 The Apache Software Foundation

Apache License, Version 2.0

ライセンステキスト

Copyright 2022 System Support Inc.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”);

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software

distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS,

WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and

limitations under the License.